

# 働き方改革アクションプラン

<b>会社名</b>	静岡ガス株式会社	<b>従業員数</b>	②1,000人～4,999人
------------	----------	-------------	----------------

## ①長時間労働の是正（KPI）

○2020年までに月の所定外労働時間数が60時間を超える社員をゼロにする。

【2018年～2020年（KPI）】

	2018年	2019年	2020年
時間外労働/月	100時間	80時間	60時間

## ①長時間労働の是正（行動計画）

### ◆業務の棚卸し全社展開

・働き方改革委員会が「業務時間を15分/日削減を目標とする」インナーキャンペーンを展開。業務の見直し・業務の効率化につながる取組みやアイデアを社内から募集・表彰する。優れた取組みやアイデアは社内ホームページ等で、全社で情報を共有。

### ◆個別面談の実施（ヒアリングシートの活用）

・所定外労働時間数が60時間以上/月の社員に対し、毎月、個別面談を実施。ヒアリングシートを活用することで原因分析と対策を確認。

### ◆2回/月の定時退社と1回/週のノー残業デーの実施

・毎月2回の定時退社を部署単位で実施。更に、個人単位で毎週1回のノー残業デーを実施。

# 働き方改革アクションプラン

<b>会社名</b>	静岡ガス株式会社	<b>従業員数</b>	②1,000人～4,999人
------------	----------	-------------	----------------

## ②年休の取得促進（KPI）

○2020年までに政府目標である年休取得率70%（年間平均）を達成する。

【2018年～2020年（KPI）】

	2018年	2019年	2020年
有給休暇取得率	60%	65%	70%

## ②年休の取得促進（行動計画）

### ◆座談会の開催

・オープンエントリーで集まった社員が身の回りの課題や取組みのアイデアを議論して、休暇を取得しやすい職場環境を作る。社員（現場）からのボトムアップによるPDCAを回す新たな取組み。

### ◆年2回の連続休暇の推奨

・連続3日の年休（土日を含めて5連休）を年に2回取得するように推奨。管理職から積極的に連続休暇を取得するように個別指導を実施。

### ◆プレミアムフライデーを活用した午後半日年休の推奨

・経済産業省・静岡市が推進する「プレミアムフライデー」の月末の金曜日に、午後半日休暇を推奨。買い物や家族との外食、観光など、社員が様々な体験を行い、多くの価値観を知り、感性を高めていく取組み。

# 働き方改革アクションプラン

<b>会社名</b>	静岡ガス株式会社	<b>従業員数</b>	②1,000人～4,999人
------------	----------	-------------	----------------

## ③柔軟な働き方の促進（KPI）

○当社「働き方改革委員会」意識調査におけるワーク・ライフ・バランスに関する評価指標（4項目）を毎年（2018年～2020年）上昇させる。

【評価指標（調査内容）】

- ① 私の職場は、休暇が取りやすい環境である。
- ② 私の職場は、周囲に気兼ねなく帰宅できる環境である。
- ③ 私は、ワーク・ライフ・バランスがとれて働けている。
- ④ 私は、自己啓発を目的として、会社以外でも積極的に活動している。

## ③柔軟な働き方の促進（行動計画）

### ◆時差勤務利用の促進活動を行う

・時差勤務は7時15分から30分単位の11時15分まで、出勤時間を選択できる制度。業務・プライベート等個人の裁量で利用できる。

### ◆柔軟な勤務制度を導入（予定）

・本社機能・営業部門を中心に、2019年1月からフレックスタイム制を導入（予定）。また、フレックスタイムを適用できない社員（職種）には時間単位休暇制を導入（予定）。

### ◆柔軟な就労の好事例の収集と展開

・時差勤務、フレックスタイム制、時間単位休暇制の導入によって、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等の個人の時間を創出・活用した事例を社内ホームページ等で発信。